



2024年3月8日

各位

会社名 株式会社 Ridge-i
代表者 代表取締役社長 柳原 尚史
(コード番号 5572 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長 中井 努
(TEL 03-4214-8558)

第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年9月12日に公表した2024年7月期第2四半期累計期間の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2024年7月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正
(2023年8月1日～2024年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	466	29	29	20	5.51
今回修正予想(B)	491	48	48	32	8.67
増減額(B-A)	+24	+18	+19	+12	—
増減率(%)	+5.3	+64.3	+65.5	+59.2	—
(ご参考)前年同期実績 (2023年7月期第2四半期)	436	83	83	57	16.70

修正の理由

当社の業績予想は、既に契約済みの案件については案件毎に積み上げ、協議及び交渉中の案件については営業の進捗状況やパートナー企業の計画及びコンサルティングファームが当社の前工程を実施している場合はその案件進捗状況を考慮したうえで案件毎に積み上げ、その他の新規顧客については前期の実績値に対して過去の実績に基づく増加率を考慮して見込みを行っております。

直近状況において、AI活用コンサルティング・AI開発サービスにおける戦略系コンサルファームとの連携案件と人工衛星データAI解析サービスの両方で比較的大型の案件受注が続き、また案件の進捗も順調だったことから売上高が期初計画を上回ったため、売上高は期初予想を5.3%上回る見通しとなりました。利益面についても、売上増による影響と大型案件の増加のため高収益率を維持していることによりLLMやサービス開発等の研究開発費の増加を吸収して営業利益は期初計画から64.3%増の見通しとなりました。また、経常利益及び当期純利益につきましても、期初計画から増益となる見通しとなりました。

今後の取り組みとして、引き続きChatGPT関連サービス等の立ち上げ※1や人工衛星データ関連事業の拡大など※2の魅力的なサービスの提供を加速することで、引き続き業績向上に努めてまいります。

※ なお、2024年7月期通期の業績予想数値につきましては、2023年9月12日公表の通期業績予想に変更はございません。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

※1 2023年10月19日プレスリリース

リッジアイ、株式会社SUBARUに生成AI活用コンサルティングサービスの提供を開始 ～
設計開発業務における生成AI活用余地を共同で検証～

<https://ridge-i.com/news/4019/>

※2 2023年12月28日プレスリリース

AI・ディープラーニング技術開発のリッジアイ、衛星画像解析に必要となる前処理技術に
関する特許を取得

<https://ridge-i.com/news/4085/>

以上